

令和6年度 第1回近江八幡市水道事業運営委員会 会議記録

開催日時 令和6年10月10日(木) 9:15～10:30

開催場所 近江八幡市水道事業所 3階AB会議室

出席者 ◎西谷委員長、○根来副委員長、北川委員、中田委員、
田中委員、伊関委員

欠席者 山下委員、小椋委員、坂上委員

事務局 【水道事業所】中西所長
【上下水道施設課】苗村課長
【上下水道総務課】西川課長、(経理・料金G)大野課長補佐
(経営G)友岡課長補佐、藤主事

＜ 内 容 ＞

委員長	1. 開会 水道事業所長挨拶
	2. 委員長挨拶 防衛省の仕事をさせていただいているが、水道について、「持続的・安定的」という話ができるのはありがたいことである。 近年のミサイルは性能が良く、地面に落ちたら地中の水道管・下水道管にまで影響を与え、水道はつながらず、下水は垂れ流しというような状態になっている戦争中の地域もある。 「持続的・安定的」な水道という、未来に向かって色々と議論ができるということを幸せなことだと思いながら、我々の状況の中で最善を尽くすような議論ができればと思う。
	3. 委員紹介 委員→事務局の順に自己紹介
各委員 ・事務局	4. 令和6年度 委員会運営について 今年度の委員会の予定や内容について説明
事務局	5. 議事 議事（１）～（３）については一括説明とする。事務局より説明をいただきたい。
委員長	

事務局	(1) 令和5年度決算概要について 【資料1-1、1-2】に基づき説明。 (2) 事業進捗状況について 【資料2、3-1、3-2】に基づき説明。 (3) 経営状況について 【資料4】に基づき説明。
委員長	今のところ、売上の9%程の利益は出ているが、利益は工事の資金不足の方に回されている。今後、人口減少が進むと予想されるため、料金収入も減少し、利益も減少していく。 市の耐震化率はそこまで高くはないが、地震に備えて予算を見ながら古い水道管を入れ替えていっている状況である。 借金の増減傾向については、今年は少し減ったが、長期的に見ると、料金改定をしないと増えていきそうな状況である。また、近江八幡市は県から水を購入しているので、県の値上げがあった場合はこれら数値にも影響が出るだろう。
副委員長	水道事業について、職員は公務員ではあるが、市長部局とは異なり、水道料金を売って、その収益の中で人件費や工事費などを賄うというのが公営企業法の原則である。長期的に見て、人口減少が進み、給水量が減っていくということは、水道事業を運営していくうえで非常に大きな問題であると言える。
委員	自己水と県水について、説明願いたい。
事務局	牧配水区域については、市の施設として牧浄水場があり、ここで浄水した水を配っている。 一方で、浄水場がない配水区域については、県企業庁から受水した水を配水している。長福寺配水区域については、市の岩倉浄水場の水（自己水）と県から受水した水（県水）をブレンドして配水しており、その割合が資料にあるとおりである。 (自己水28%、県水72%)

副委員長	市の浄水場で作っている水を供給しているというのが自己水であり、県企業庁が運営する浄水場で作られた水を買っているというのが県水である。
事務局	市で供給している水道水の7割強を県水で賄っている。自己水については、牧浄水場、岩倉浄水場、南部水源地（安土地域）の3箇所であり、岩倉、南部は地下水を、牧は琵琶湖の水を原水としている。県水も琵琶湖の水が原水である。
委員長	次に、議事（4）について、事務局より説明をいただきたい。
事務局	（4）経営計画（経営戦略）改定及び利用者意識調査について 【資料5、6-1、6-2】に基づき説明。
委員長	アンケートの項目が多いので、回収率が低くなる可能性があるが、QRコードを同封しておき、インターネットでも回答できるようにしてはどうか。
事務局	この会議には間に合わなかったが、当市の情報系の部門と調整しており、最終的には紙とQR両方で回答できるようにしたいと考えている。
副委員長	アンケート内容について、補足説明を作ったり、パンフレットを送付したりするのか。 例えば、「集合住宅」や「貯水槽」という単語を一般市民の方が理解できるのか。
事務局	パンフレットを送付するか、難しい語句の説明文を付け加える形などで対応したい。
委員長	2500世帯にアンケートを送付することに関して、アンケートの内容によって、答える方の層に偏りが出る場合には、信頼できない結果になることもありえるので、利用水量で区分するなど、工夫してみてもいいかと思う。

委員長	本日の委員会の内容として、全体的には少しカツカツながらもしっかりと経営できている。ただ、将来的な見通しはそんなには明るくない。それも含めて、将来計画を立てていきたい。 そのために、今日は近江八幡市の水道事業がどのような状態なのかという基本的な情報を皆で共有したという会になる。 他になければ議事終了とするがよろしいか。
委員	一同異議なし。
副委員長	6. 閉会 全国的に給水量が極端に減少傾向の一方、老朽管は増加しており、独立採算制の水道事業にとっては非常に厳しい経営を迫られている。 これから経営戦略を改定されるが、私の元職場では、20万tクラスの浄水場を1つ減らしたりもした。今ある施設をそのまま更新するだけでなく、全体的にどうすれば市が最も長期的に安定した経営を継続できるのか、今後考えていきましょう。 本日はありがとうございました。